

創立 50 周年記念

式典要覧



きれいに咲こうよ 咲かそうよ



期 日：令和 4 年 10 月 29 日（土）

場 所：本 校 体 育 館

沖 縄 県 立 美 咲 特 別 支 援 学 校
創 立 5 0 周 年 記 念 事 業 期 成 会

沖縄県立美咲特別支援学校校歌

作詞 金城順亮

作曲 吉岡敏晴

にま くに ほん ー の な み ー う る ー ま じ ー ま

へい い わ に い き た る わ が が ー も よ

た だ い し く ー あ お か し く む ね は ー て ま の な

ぶ た ー よ わ れ れ ら ー ひ は ひ ー う

き れ い に さ こ う ー よ さ か そ う よ

こ れ そ わ れ ら の み さ き こ ー う

一

日本の南(みんなみ) うるま島
平和に生きる 我が友よ
正しく雄々しく 胸張って
学ぶよ我ら 心は一つ
きれいに咲こうよ 咲かそうよ
これぞ 我らの 美咲校

二

真つ赤なでいこの うるま島
元気に育つ 我が友よ
大地に深く 根を張って
伸びるよ我ら 心は一つ
きれいに咲こうよ 咲かそうよ
これぞ 我らの 美咲校

三

黒潮しぶく うるま島
理想に燃える 我が友よ
青い海原 どこまでも
はばたく我ら 心は一つ
きれいに咲こうよ 咲かそうよ
これぞ 我らの 美咲校

記念式典式次第

- 1 開式のことば PTA 副会長 嘉島美香代
- 2 校歌静聴
- 3 学校沿革概要並びに経過報告 . . . 教 頭 赤嶺 信吾
- 4 式 辞 校 長 栗國 静夫
- 5 あいさつ 県教育委員会教育長 半嶺 満
- 6 あいさつ 幼児児童生徒代表 伊波 雄人
- 7 プレイバック 50 年
- 8 感謝状贈呈 期成会会長 澤岷 聖司
- 9 受賞者代表あいさつ 第 14 代校長 新崎 每子
- 10 美来工科高等学校より納品
- 11 あいさつ 期成会会長 澤岷 聖司
- 12 記念品贈呈
- 13 閉式のことば PTA 会長 赤嶺 ルミ

学 校 沿 革 概 要

昭和 47 年	1 月 20 日	初代 宮城康輝 校長、金城順亮 教頭発令
	1 月 24 日	設立事務所を琉球政府立大平養護学校に設置
	5 月 10 日	開校式挙行(小学部 22 名、中学部 14 名、職員 15 名)
	5 月 15 日	祖国復帰により校名を「沖縄県立美咲養護学校」と改める
昭和 48 年	3 月 24 日	第 1 回修了式並びに第 1 回小学部卒業式挙行
	5 月 28 日	新校舎へ移転、管理棟竣工
昭和 50 年	5 月 1 日	体育館竣工
昭和 51 年	3 月 8 日	高等部校舎竣工
昭和 52 年	4 月 22 日	プール竣工
昭和 53 年	4 月 1 日	第 2 代 嘉陽宗利 校長就任
昭和 54 年	3 月 10 日	第 1 回高等部卒業式(男子 11 名、女子 14 名、計 25 名)
昭和 55 年	1 月 16 日	校内成人式新校舎落成祝賀会
昭和 56 年	5 月 2 日	後援会を解散し PTA を結成
		(初代会長 仲泊正勝氏、副会長 高江洲タケ氏)
昭和 57 年	4 月 1 日	第 3 代 平良正久 校長就任
	12 月 15 日	創立 10 周年記念式典及び祝賀会を挙行 (10 周年記念誌発行)
昭和 58 年	6 月 22 日	校舎落成記念式典並びに祝賀会挙行
昭和 59 年	8 月 28 日	体育館(増築)落成
昭和 60 年	1 月 24 日	屋外教育環境整備工事 (屋外ステージ) 竣工
昭和 61 年	4 月 1 日	第 4 代 宮良用倫 校長就任
昭和 62 年	4 月 1 日	第 5 代 真栄城徳仁 校長就任
	10 月 27 日	海邦国体花いっぱいコンクールにおいて、最優秀賞受賞
昭和 63 年	4 月 1 日	教頭 2 人制となる(大城朝次郎教頭、小浜光次郎教頭)
平成 2 年	11 月 1 日	第 6 代 仲宗根恵蔵 校長就任
	12 月 6 日	全国野鳥生物保護実績発表大会にて日本鳥類保護連盟より表彰
平成 4 年	3 月 13 日	第 1 回養護学校駅伝大会にて本校優勝
	5 月 10 日	創立 20 周年記念式典及び祝賀会を挙行 (20 周年記念誌発行)
平成 5 年	3 月 17 日	特殊教育諸学校緑化コンクールにおいて最優秀賞受賞
	4 月 1 日	第 7 代 大城朝次郎 校長就任
平成 7 年	4 月 1 日	第 8 代 仲嶺貞夫 校長就任
	11 月 28 日	日本体育学校健康センター沖縄支部より「学校安全優良校」に表彰される
平成 8 年	1 月 19 日	新校舎玄関に「美咲シーサー」を設置する
	5 月 10 日	第 24 回創立記念日、校舎全面改築記念式(記念除幕式・記念式典・祝賀会挙行 石碑に「きれいに咲こうよ 咲かそうよ」の校歌の一節を刻む(揮毫登川正雄氏)
平成 9 年	6 月 5 日	平成 9 年度文教施設協会公立学校優良施設「文部大臣奨励賞」受賞 (設計：株式会社アトリエ海風)
平成 10 年	4 月 1 日	第 9 代 大濱克己 校長就任
平成 11 年	3 月 18 日	屋外トイレ完成
平成 12 年	4 月 1 日	第 10 代 仲本董 校長就任

	10月12日	幼稚部校舎新築及びプール改築安全祈願祭挙行
平成13年	4月10日	第1回幼稚部入学式挙行(男4名 女3名 計7名)
	5月10日	29回創立記念日(幼稚部開校・校舎・プール落成記念式典及び祝賀会挙行)
平成14年	5月10日	創立30周年式典並びに祝賀会挙行(記念誌「みさき」発行)
平成16年	4月1日	第11代 仲間博史 校長就任
平成18年	4月1日	第12代 大城一夫 校長就任
平成21年	4月1日	第13代 城間律子 校長就任
		校名変更「沖縄県立美咲特別支援学校」となる
平成22年	7月28日	美ら島高校総体総合開会式 (公開演技リズムダンスに高等部生徒33名参加)
	10月25日	平成22年度県緑化コンクール「特選」
平成23年	5月13日	PTA総会にて分校設置に係る学校説明会
平成24年	4月1日	第14代 新崎每子 校長就任
	10月27日	創立40周年式典並びに祝賀会挙行(記念誌「美咲」発行)
平成25年	11月1日	分校準備室設置に伴い、教頭 城間政次、教務主任 今村清輝 発令
	3月20日	はなさき分校へ送る会
平成26年	4月1日	第15代 町田裕 校長就任
	4月12日	本校の過密化解消のため、沖縄ろう学校敷地内に、「美咲特別支援学校はなさき分校」が開校
平成27年	6月19日	平和学習(幼小)新崎每子元校長による一人芝居学習活動実施
平成28年	4月1日	第16代 座間味恵利子 校長就任
	11月17日	特別支援学校技能検定が開始
平成30年	4月2日	第17代 徳永盛之 校長就任
平成31年	2月16日	全国障がい者ボウリング大会 知花海良さん(中2)が出場
令和元年	5月1日	元号が「平成」から「令和」に改元となる
	12月25日	普通教育棟竣工(3階建て・4つの普通教室、視聴覚教室、調理場を増築)
令和2年	2月17日	玉城デニー沖縄県知事学校訪問
	4月1日	第18代 城間政次 校長が就任
	4月6日	新型コロナウイルス感染症対策に伴う県立学校一斉臨時休業(5月20日まで)
	5月21日	令和2年度一学期始業式
	5月22日	令和2年度入学式挙行
	5月25日	新型コロナウイルス感染症のため分散登校(6月5日まで)
	6月15日	過密化解消のため、スクールバスを3台増便(登校時、令和4年度まで継続)
	8月12日	沖縄県緊急事態宣言に伴い、臨時休校(8月23日まで)
令和3年	6月7日	新型コロナウイルス感染症対策に伴う県立学校一斉臨時休業(6月20日まで)
	7月20日	一学期終業式
	8月25日	二学期始業式 県の緊急事態宣言発出中に伴い分散登校(9月30日まで)
令和4年	4月1日	第19代 栗國静夫 校長が就任
		高等部教育センター分教室、美里高校分教室が設置される
	7月26日	玉城デニー知事と語やびら対話キャラバン 本校にて開催
	10月14日	車輛用通路及び車輛用出口整備完了(運動場外周)

創立 50 周年記念事業経過概要

令和 2 年

- 12 月 18 日 創立 50 周年準備委員会立ち上げに向けての話し合い
組織体制、期成会会則及び業務日程等について話し合われる

令和 3 年

- 4 月 2 日 創立 50 周年記念事業担当者の顔合わせ
担当者の確認や今後の業務について話し合われる
- 4 月 13 日 創立 50 周年記念事業期成会組織案の提案
- 7 月 19 日 創立 50 周年記念事業期成会結成総会（書面開催）
- 9 月 28 日 創立 50 周年記念事業第 1 回実行委員会
式典日程や参加者の確認、寄付金目標額等について話し合われる
- 11 月 1 日 創立 50 周年記念事業第 2 回実行委員会
「創立 50 周年記念事業」について書面決議にすることを提案・了承
- 12 月 7 日 創立 50 周年記念事業第 3 回実行委員会
寄付金の取り組み方針等が話し合われる

令和 4 年

- 1 月 12 日 創立 50 周年記念事業第 4 回実行委員会
記念事業における信号機製作について美来工科高校の職員が来校し玄関前の横断歩道の現場確認
- 2 月 8 日 創立 50 周年記念事業第 5 回実行委員会
表彰者の確認、ロゴの提案及び記念誌編集方針等が話し合われる
- 4 月 12 日 創立 50 周年記念事業第 6 回実行委員会
記念事業ロゴマークが決定
- 5 月 24 日 創立 50 周年記念事業第 7 回実行委員会
印刷業者の選定及び式典の参加人数、体育館への校歌板の設置について
- 6 月 14 日 創立 50 周年記念事業第 8 回実行委員会
式典次第、祝賀イベントについて
- 7 月 12 日 創立 50 周年記念事業第 9 回実行委員会
式典当日に向けた「1 人一鉢 花を育てよう」活動が提案、承認される
- 9 月 13 日 創立 50 周年記念事業第 10 回実行委員会
- 10 月 11 日 創立 50 周年記念事業第 11 回実行委員会（最終確認）
- 10 月 29 日 創立 50 周年記念式典及び祝賀イベント



開校五十周年に寄せて

美咲特別支援学校

校長 栗國 静夫

本日ここに、沖縄県立美咲特別支援学校創立 50 周年記念式典の開催にあたり、公私共に御多用のところ、県教育委員会教育長をはじめ、多くの御来賓並びに保護者、関係者の皆様に御臨席を賜り、かくも盛大に挙行できますことは、この上ない慶びであり、教職員を代表して衷心より感謝申し上げます。

さて、本校の 50 年の歴史を紐解きますと、昭和 47 年 1 月に琉球政府立中部養護学校として設立が認可され、初代校長に宮城康輝先生、初代教頭に金城順亮先生が発令されました。3 月には琉球政府立美咲養護学校と校名を変更し、4 月には金城順亮先生による作詞で校歌が制定されました。そして、5 月 10 日に小学部 22 名、中学部 14 名、職員 15 名で開校式が挙行され、5 月 15 日には沖縄県の祖国復帰に伴い校名を沖縄県立美咲養護学校に変更し、その後、平成 21 年 4 月には沖縄県立美咲特別支援学校と校名を改めております。また、昭和 51 年に高等部、平成 13 年には幼稚部が設置され、開校以来幼児児童生徒数が増加の一途をたどり、平成 26 年 4 月はなさき分校が分離・開校し現在に至っております。そして今年度、幼児児童生徒数は 382 名となり、これまでで最も多い在籍数となっております。

平成 26 年の分校分離以降も幼児児童生徒の在籍数が増加し続け、教育環境の狭隘化への対応として今年度、新たに県立総合教育センターおよび県立美里高等学校へ高等部の分教室を設置しました。総合教育センター分教室は一般就労を目指した職業教育の充実、美里高等学校分教室はインクルーシブ教育の推進を掲げ、合わせて 25 名の生徒が学んでおります。このような在籍数増加という現状改善のためには、早急に中部地区へ新たな学校の設置が待たれます。

本校は「社会参加・自立・貢献」を校訓に掲げ、開校以来半世紀、幼児児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに対応し、きめ細やかな指導・支援を行い、可能な限り自立し社会参加および社会貢献を図るための基礎・基本的な知識・技能および意欲・態度の育成に取り組んで参りました。これまで、本校高等部を巣立った卒業生は 44 期、1436 名を数え、一人ひとりその持てる力を発揮し、一般就労や福祉サービス事業所等、地域社会で頑張っています。

本校創立時に制定された校歌の一節である「きれいに咲こうよ、咲かそうよ」は本校教育のキャッチフレーズとなっており、「咲こうよ」には子どもたちの主体性が、「咲かそうよ」には教職員をはじめ保護者や地域の方々の温かい支援の思いが込められています。教職員、保護者、地域の方々の三者が心をついに手を取り合い、「咲きたい」と願う子どもたちの花を見事に咲かせております。これが、平成 28 年度の文部科学大臣 P T A 優良校表彰に結実したものと確信しております。保護者の皆様におかれましては、今後とも本校教育活動への御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、現在、新型コロナウイルス感染症の終息が未だ見通せず、幼児児童生徒の健康や学びが懸念される状況が続いております。学校においては保護者の皆様の御協力の下、全教職員で感染症対策に取り組むとともに、子どもたちの学びの保障にも取り組んでおります。また、学びの保障としては、今年度、高等部において新しい学習指導要領が実施となり、幼小中学部含め全ての学部において新しい学習指導要領が実施となりました。これに伴い、全ての児童生徒の教科指導における「学びの履歴」および自立活動における実態把握から、根拠のある指導目標および学習評価である「指導と評価の一体化」に取り組んでおります。

結びに、意義ある 50 周年の節目に物心両面から多大な御支援を賜りました関係各位に厚く御礼を申し上げます。また、期成会会長を始め P T A 役員および保護者の皆様、関係各位の皆様、御指導・御鞭撻いただきました県教育委員会、沖縄市、また式典に御臨席を賜りました全ての皆様に深謝申し上げます。今後とも本校教育の更なる充実・発展に向けて御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げ、式辞といたします。



あいさつ

沖縄県教育委員会
教育長 半嶺 満

沖縄県立美咲特別支援学校の創立 50 周年の佳節を迎え、記念式典が開催されるにあたり、ごあいさつ申し上げます。

美咲特別支援学校は、昭和 47 年 1 月 18 日に琉球政府立中部養護学校として認可され、同年 5 月 10 日に琉球政府立美咲養護学校に校名を変更、小学部児童 22 名、中学部生徒 14 名、教職員 15 名で開校いたしました。同年 5 月 15 日の沖縄県の祖国復帰に伴い、校名を沖縄県立美咲養護学校と改めております。開校時は、校舎がまだ完成しておらず、美里公民館及び美里青年会館を仮校舎として借用してのスタートでした。昭和 51 年度から高等部、平成 13 年度からは幼稚部が加わり、幼稚部から高等部までの 4 学部が揃いました。国においては、平成 19 年度よりこれまでの特殊教育から特別支援教育へ大きな転換が図られ、平成 21 年度に現在の沖縄県立美咲特別支援学校となりました。

開校当時、初代校長の思いである「きれいに咲こうよ、咲かそうよ」をキャッチフレーズに、自立や社会参加、社会貢献できる人材育成を教育目標に掲げ、50 年間、中部地区の知的障害教育校として幼・小・中・高一貫した教育を担っております。今年度、学校の花「校花」を募集し、児童生徒の投票より「ひまわり」が選定されました。幼児児童生徒一人一人が、ひまわりのように、自分の将来や夢に向かって元気にまっすぐ育つよう期待しております。

また、PTA 活動では、教育環境整備など、長年保護者と教職員が一体となって活発に活動しており、その取組が評価され、平成 28 年に文部科学大臣表彰を受賞しております。家庭や地域社会との連携及び協働の深まりは、同校の目指す自立と社会参加、社会貢献の理念をさらに広げています。

近年、特別支援教育のニーズの高まりと児童生徒数の増加により、美咲特別支援学校を母体とした、はなさき分校が平成 26 年度より開校しました。さらに令和 4 年度より美里高等学校分教室、総合教育センター分教室がスタートしました。美咲特別支援学校を中心とした交流及び共同学習が推進されると共に、相互に人格と個性を尊重し合える共生社会の実現に向けて、センター的機能の充実とインクルーシブ教育システムの構築に向けた今後の取組が期待されております。

結びになりますが、これまで本校の教育に御尽力くださいました保護者の皆様、歴代校長はじめ教職員、全ての皆様に心から感謝申し上げますと共に、本校が幼児児童生徒の個々の教育的ニーズに応じ、一人一人の生きる力を育むことができる学校として一層の充実を祈念いたしまして、あいさついたします。





あいさつ

美咲特別支援学校創立 50 周年記念事業期成会
会長 澤岨 聖司

本日ここに、沖縄県立美咲特別支援学校創立 50 周年記念式典を挙げるにあたり、多数のご来賓の皆様方をはじめ、PTA 会員の皆様、大勢の皆様のご臨席を賜り共にお祝いできますことは、この上ない喜びであり、期成会を代表して心より御礼申し上げます。

本校の創立以来の歩みを振り返りますと、本校は昭和 47 年に創立され、今年で満 50 年を迎えることになりました。知的障がい教育の専門校としての数々の実績と伝統は素晴らしく、これまでに 1436 人の生徒が社会参加、自立、社会貢献を果たしております。

これも歴代の校長先生をはじめ、諸先生方、諸先輩方が作り上げて下さったものと感謝の気持ちでいっぱいです。そして、子ども達が学び育っていく環境をよりよいものにとご尽力いただいている県教育委員会や、日頃よりたくさんのご理解とご支援をいただいている地域や関係諸機関の皆様方に、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、本校では令和 3 年度に「県立美咲特別支援学校 50 周年記念事業期成会」を結成し、この記念事業を推進するために、総務部、財務部、記念誌部、事業部、の 4 つの部が設置されました。しかし、新型コロナウイルスの影響で社会・経済活動も自粛や行動制限を求められる中、学校でも行事や PTA 活動の中止や縮小が相次ぎ、本記念事業も思うように進めることができず、歯がゆい思いをされた方もおられると思います。そんな中でも保護者、教職員の皆様のご協力が無事本日を迎えることができました。

記念事業の中で、県立美来工科高等学校のご協力の下、本校玄関前に信号機を設置する取組みを進めてまいりました。今年度、美来工科の電子システム科と機械システム科の 3 年生を中心に課題研究の一環として取り組んでいただき、本日無事納品の儀を迎えることができました。

現在、本校では登下校時に児童生徒の安全確保のため、大勢の教職員の方に交通誘導にご尽力いただいております。今回、信号機を設置することで、児童生徒のより一層の安全確保につながることを期待しております。

そして、この信号機は交通安全教育への活用も期待でき、児童生徒たちの交通社会での経験不足を補い、安全対応能力の向上に寄与することでしょう。

今回の交流を機会に、近隣校である美咲、美来工科両校の児童生徒たちが相互理解を深め、交流が継続していくことを願っております。

結びに、活動期間に限られる中で、これら全ての記念事業の目的を達成出来たのは、保護者や教職員、卒業生、企業や多くの方々からのご寄付や協賛広告、物品販売などへのご理解ご協力の賜物であり、厚く御礼申し上げます。今後とも本校の教育活動の推進にご理解、ご支援を賜りますようお願いすると共に、本校教育の一層の充実・発展を祈念しまして、ご挨拶とさせていただきます。





50 周年を祝して感謝の言葉

美咲特別支援学校

PTA 会長 赤嶺 ルミ

本日は県立美咲特別学校創立 50 周年を迎えられたことを、心からお祝い申し上げます。

又、PTA 会長として創立 50 周年記念事業に携わることができ、ここに挨拶を述べさせていただくことは大変光栄に思います。すべての関係者皆様にお礼申し上げます。

我が校は 1972 年美里公民館で開校し、それから 50 年という歴史の中で、色々な時代の要請に応えながら、心身ともに健やかな生徒の育成に取り組まれてきたことと思います。そして「きれいに咲こうよ 咲かそうよ」のキャッチフレーズのもと、小さなつぼみから、それぞれ個性豊かな花を咲かせられるように、家庭と学校、支援者皆様との連携で、共に支え、手を携えて多くの生徒さんを社会へ送りだしてきました。これも、一重に歴代校長先生をはじめ、教職員皆様方の熱意あるご支援のおかげと、保護者皆様の支え、生徒皆さんの日々の努力もあり、多くの生徒さんがご卒業され社会へ貢献されている事を、あらためて PTA を代表いたしまして感謝申し上げます。

私の息子は平成 25 年度に幼稚部に入学し 10 年の時があったという間に過ぎさったように思います。私は PTA に携わり 9 年目になりますが、その頃から PTA 活動も、すごく活発で先輩保護者、教職員の皆様方から子供の成長過程において子供と向き合っていく、たくさんのヒントを教えていただきました。そして歴代役員の皆様と、さまざまな行事、県外研修など、ご一緒させていただき、多くのことを学ばせてもらいました。又、平成 28 年には PTA 優良校文部科学大臣賞受賞し、盛大な祝賀会もおこなわれ美咲の輝かしい歴史の 1 ページとなりました。そして現在、中部地区支援学校の過密化のため中部地区へ支援学校の設置案が動きだそうとしています。一日でも早く生徒皆さんが安全で安心して学習環境が適正に整えられますように関係各者の皆様方へお願い申し上げます。

結びに美咲創立 50 周年記念式典を開催するにあたり、多大なるご協力をいただきました、歴代の校長先生はじめ、教職員の皆様、PTA の皆様、卒業生皆様に心より感謝申し上げます。又、栗國校長先生はじめ管理者の皆様、期成会会長はじめとする周年事業実行委員の皆様、PTA 会員皆様、多くの方々が、これまで運営に携わりご尽力いただきました。心より御礼申し上げます。

これまでの輝かしい歴史を 10 年後、未来へつなげるためにも、私たち PTA は、50 周年の歴史の重みを感じつつ、さらに現代の社会情勢に合わせ PTA 活動の内容充実にも努め、心新たに邁進して参りたいと思います。この先も子供たちの健やかな成長と、「県立美咲特別支援学校創立 50 周年」この良き伝統と校風を祝い、益々のご発展を祈念し挨拶と致します。





美咲でみつけた宝物

美咲特別支援学校

高等部生徒会長 伊波 雄人

美咲特別支援学校は、今年で創立 50 周年を迎えます。50 周年という年に、この学校に在籍できたことを嬉しく思います。入学したばかりの頃は、初めての経験の連続で戸惑いもたくさんありました。しかし先輩方一人一人の優しいサポートや、新しくできた友達のおかげですぐに学校生活に馴染むことができました。特に印象に残っているのが、新しいクラスで顔合わせをした時のことです。みんなと仲良くなれるか不安に思っていた時、ある 1 人の男の子が私に声をかけてきました。「ちょっとネクタイが取れないから、取ってくれない?」。その様子がとても可愛く、私は思わず笑ってしまいました。そのことをきっかけに、その子と仲良くなることができました。小さなきっかけでも仲良くなれるんだなと思い、自分から周りの生徒に挨拶したり、話しかけたりするうちに、たくさんの友達をつくることができました。

2 年生では、初めての現場実習を経験しました。働くことの大変さや楽しさ、そして仕事をする上で様々な人とコミュニケーションをとることの大事さに気付かされました。そして、待ちに待った修学旅行。東京に行く予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により県外へ行くことは叶いませんでした。県内での日帰り 3 日間の修学旅行になってしまいましたが、みんなでご飯を食べたり、カヌーに乗ったり、水族館に行ったりしてとても充実した三日間となりました。

そして 3 年生になり、私は今年度からスタートした総合教育センター分教室に行くことになりました。行こうと決めた理由は、センター分教室では就職に向けた授業を多く取り入れており、将来に向けた準備ができと思ったからです。授業以外にも「自主活動」という、資格取得に向けた勉強や運動、余暇活動など自分がやりたい活動を行う時間もあります。校外学習も充実していて、保育園や企業見学、地域の施設の見学など、卒業後に繋がる多くの経験をすることができました。また生徒会長として、学校行事がある時には本校の生徒会と連携して頑張ることができました。放課後みんなが帰った後、生徒会の集まりで居残りをして辛いこともありました。行事などで見る生徒一人一人の笑顔がやる気に繋がりました。大勢の前で話すことも多く、初めは緊張しましたが、今では人前で話すことにも緊張することがなくなりました。これからもこの学校のリーダーとして、これまでよりさらに「挨拶」を学校全体に広め、一人一人が仲良く、明るい学校を作り上げていきたいと思っています。そして 3 年生になった今、残りわずかな一日一日を大切にしながら、仲間と一緒にたくさんのことにチャレンジし、精一杯楽しみたいと思います。

最後に、美咲特別支援学校の皆さん、何事にもチャレンジし、失敗することを恐れなくてください。失敗した、と残念に思うのではなく、なぜそうなったのかを考え、また次のチャレンジに活かしていきましょう。そして学校生活を通して自分と向き合いながら、生涯続けたい仕事や目標を見つけていきましょう。これからも「きれいに咲こうよ、咲かそうよ」というスローガンのように、みんなの笑顔があふれ、活気のある美咲特別支援学校であるよう願っています。





美咲ではじまる

沖縄県就学支援委員会

会長 嘉数 睦

(本校開校当時の新規採用教諭)

創立50周年、まことにおめでとうございます。

めでたい50周年記念誌掲載原稿の依頼を頂き、恐縮するとともに光栄なことに感謝し、引き受けたものの、改めて記念誌に書き加える内容を持ち合わせてないことに気がついた。「5周年と聞いて、寝ていたウサギが起こされたような慌てぶりをして、覚めない目をこすりながら来た道と行く道を探し出そうと焦っているような5周年の迎え方です。」と5周年記念誌「5か年のあゆみ」の職員雑感に私は書いた。50年経った2度目の今も同じ心境に情けない思いを抱えながら、美咲での忘れられないことを綴る。

開校までの1か月のこと。1972年4月1日、新卒採用で新設美咲養護学校教員となった私の通勤先は、美里小学校の図書館。開校準備室となっていた図書館に毎朝、ランドセルを背負った一人の男の子が来た。「その子と一緒に遊んで」と金城順亮教頭が私に一言。初日から二人で、美里小学校飼育小屋のニワトリに朝の挨拶。思う存分遊び、図書館に戻る。お弁当を食べ、うんちしているニワトリを描いて、日課終了。ありえない不思議な日々は、わが子の登校を待ち望む保護者への計らいだった。書き溜めたその子の絵は、開校のしおりの表紙を飾り、私は、遊びが仕事と覚えた。

「不就学者（就学猶予・免除者）」調査。開校年の後半3ヶ月、当時の校区内市町村で学校に行っていない子（不就学の障害児）を訪ね美咲養護学校を紹介。通学していない理由、障害の状態も様々。通学経験がないまま学齢期を過ぎ、私と年齢が近い子の保護者が「今からでも学校行けますか？」と聞いてきた。市町村教育委員会が在宅の実態把握と通学支援に動いた。開校2年目の記録に「中頭一円から40名近い該当者を迎え入れた。」がある。在籍学年で年齢が同じでない学級編成が、さらに続いた。そして、高等部設置の声。高教組美咲養護分会名で今も手元にあるその報告書表紙には、「障害児の生活と権利を保障するにはどうすればよいか（学習領域班）」とある。当時の養護学校教師の自主研修テーマであった。学習権、教育を受ける権利等、先輩先生との深夜までの議論は、今も、深く、重く甦る。

「私の先生よ」。中学部の女子生徒が、牛に担任を紹介した。家庭訪問について行った私は、担任の山城見信先生が、帽子を取り、牛に深々と挨拶するのを見た。見信先生は、ご自分の「美尻毛原の神々」の本に、「長い不就学を余儀なくされたM子。思春期を迎えてもなお私の先生と呼べる人は一人も存在してなかった。その時の言葉が心に食い入っている。」とその情景を記した。その光景と見信先生の実践は、心に刻まれ、思い返す。

私の50年前の体験は今、何の意味があるのだろうか。

変化の速い今、未来に進む道筋を見つけるには、過去に目を向けることと考えた。美咲の始まりで見た数々の夢や思いが、新たな一歩へ繋がれば、幸いだ。期待したい。

皆様のご活躍を心から祈念申し上げます。



昭和54年

2年生修了記念写真は、保護者、兄弟も一緒

昭和53学年度 県立美咲養護学校2年修了記念 昭和54年3月23日



昭和 48 年 中学部授業 青年会館にて



昭和 49 年 野外パーティー
中学部と小学部の合同授業と
して取り組んだ



昭和 49 年 小学部新教室での授業



昭和 49 年 第 1 回学習発表会に向けて



昭和 54 年 第 6 回学習発表会
焼き芋屋、ムービーなど総合的
な学習とお楽しみ会が一緒にな
った発表会であった



感謝状受賞者御芳名（敬称略）

1 歴代校長

新崎 每子（本校第 14 代校長）

町田 裕（本校第 15 代校長）

座間味 恵利子（本校第 16 代校長）

徳永 盛之（本校第 17 代校長）

城間 政次（本校第 18 代校長）

2 歴代 PTA 会長

仲村 三千代（本校第 15 代 PTA 会長）

仲宗根 美佐代（本校第 16 代 PTA 会長）

3 個人（企業）

濱 まゆみ（本校 PTA 会計）

平田 大一（沖縄文化芸術振興アドバイザー）

山城 俊子（特別支援教育アドバイザー）

田村 浩介（株式会社いきがいクリエーション）

坂本 将吏（NPO 法人 侍学園 スクオーラ・今人）

島袋 将伍（株式会社リタリコワークス 沖縄）

玉元 涼子（一般社団法人 一二三 楽学喜サポート アチェンド ）

神谷 牧人（株式会社アソシア）

平田 小枝子（社会福祉法人 輝翔福祉会）

勢理客 由美子（前本校学校薬剤師）

具志川 光彦（本校卒業生育成会役員）

國玉 普久（株式会社フィットネスプロモーション）

屋宜 広昭（旨い処 わさび）



㊦ 「きれいに咲こうよ、咲かそうよ」

美咲特別支援学校

第14代校長 新崎 每子

(平成24年4月～平成26年3月)

今は2022年(令和4年)、10年前は2012年(平成24年)、ずっと変わらない私の大好きな美咲特別支援学校の皆さん、「50周年の誕生日 おめでとうございます!!」

時の流れが止まり、創立40周年の頃の校長として思い出す事がたくさんあります。

最初に、「美咲丸」として「知的な遅れの困り感のある幼児児童生徒の特性を知ろう」から始まり、全職員が共通認識を持ち指導目標を確認するために、「知的障害の特性理解とその対応について」の研修を打ち、大きな船出をさせてもらいました。九州一大規模な美咲特別支援学校の果たすべき役割を、職員を一丸にして舵取りすることに大きな責任を感じたものです。その向かう先は、教育活動のキャッチフレーズ「きれいに咲こうよ(子ども達の願い)、咲かそうよ(教職員の指導支援)」に全て込められ「社会参加 自立 貢献」できる子ども達の育成でした。

子ども達の発達段階、教育的ニーズに応じて、幼稚部、小・中学部、高等部の入学式、卒業式を分けました。学校という社会へ、不安と期待・希望を抱きながらの社会参加への第一歩だと思ったからです。幼稚部の子ども達はこれから始まる何かへの不安な泣き声、小・中学部の子ども達は少し学校に慣れた感じの笑顔、高等部の子ども達は無事に受検合格した安心と外部入学生の何とも言えない不安と複雑な表情、それぞれが自立に向けてスタートだと思います。また、保護者に昨日より一歩進んだ晴れ姿を見せて喜ばせることができたのは、貢献に繋がると思います。

校長冥利に感じたことも沢山あります。牛の大好きな高等部Mくんが校長室に闘牛のDVDをたくさん持ってきて延々と闘牛の話をし、石川闘牛場での試合に案内してくれたことです。初めて生で闘牛を見ました。しかもMくんが飼い主で闘牛の場にMくんも大人のおーらさーに交じって「ヒーヤー！ヒーヤー！！」と大声を出して戦わせていました。勝ちました。すごく興奮しました。その後、Mくんは戦った牛の身体をブラシで慈しむように丁寧に洗っていました。これは、私も含め闘牛を見に来た人たちを喜ばせ興奮させ幸せなひと時を与えてくれた社会「貢献」そのものだと思います。

さらに印象深いのが、今ある「はなさき支援学校」ができるまでの保護者(校区変更の不安)と職員同志(特に、特色ある教育課程の編成)との強い連携は忘れることができません。時は流れても分校設置当時の理念が脈々と繋がっている事に、改めて「子ども達の学校」という確信を新たにしております。

結びに、たくさんの笑いと愛おしさを感じさせてくれた美咲特別支援学校の皆さんに心から感謝いたします。美咲特別支援学校の創立50周年は、沖縄復帰50周年と重なり、歴史的にも大変重みがあり、特別支援教育の役割を再確認する大事な節目です。特別支援教育に携わる全ての方に「知的支援教育は生活に繋がる具体的指導内容にこだわること」、「人と関わる力を、日常生活の中で意図して指導にこだわること」、「好きなことを一緒に見つけて卒業させること」等をゆっくりと計画的に確実に実践していくことを心から祈念して創立50周年の祝辞といたします。





平田大ープレゼンツ「ぐすーじさびら！美咲 50 周年祭」

構成・演出：平田大ー

出演者：美咲っ子ちむドンダンスクルー、美咲 OTONA フラワーダンサーズ（職員、PTA 有志）

チーム鬼鷲（現代版組踊「鬼鷲～琉球王尚巴志伝～」）

スペシャルゲスト：イクマあきら

ビデオメッセージ：サプライズスペシャルアーティスト

(1) オープニング/ウォーミングアップ

「グスーじサビラ～いのちのまつり」 作詞：イクマあきら、平田大ー 作曲：イクマあきら

解説＞元気な声だしとウォーミングアップ曲でテンション Max！

「ぐすーじさびら！（お祝いしよう！）」と元気に歌い飛び跳ねます！

美咲の 50 周年を祝うにふさわしいパワーソングで幕明けです！

(2) 「船よ疾走れ！」 作詞：平田大ー 作曲：イクマあきら

解説＞2021 年「琉球海運創立 70 周年記念ソング」として創作。

舞台「レキオス！～ぼくたちの大航海～」の開演前に踊った感動も再び！

(3) 「ミルクムナリ」 作詞：小浜口説（詞協力/平田大ー） 作曲：日出克

解説＞誰もが知っている創作エイサーの定番曲「ミルクムナリ」

平田さんの故郷の古謡のオリジナルダンスを「あい～んバージョン」で！

こちらは、美咲の職員・PTA の有志によるスペシャルチャレンジコーナーでもあります。先生や大人たちの挑戦する姿にもご期待下さい。

(4) 「鬼鷲-うにわし-」 作詞/作曲：平田大ー

解説＞平田さん演出の舞台、現代版組踊「鬼鷲～琉球王尚巴志伝」の主題歌です！

踊りを指導し、交流した「チーム鬼鷲」の皆さんが披露してくれます！

(5) 「シンカヌチャー」 作詞：宮沢和史、我如古より子、平田大ー 作曲：宮沢和史

解説＞「島唄」でお馴染みの宮沢和史さんのエイサーソングを皆で挑戦！

(6) 「ダイナミック琉球」 作詞：平田大ー 作曲：イクマあきら

解説＞イクマさんの魂の応援歌の熱唱に全身全霊で応えて躍動する美咲っ子！

作詞も手掛け琉球ラップ（口説）を吟じる南島詩人にも注目です！

50 周年を記念する舞台のフィナーレをダイナミックに飾ります！

イベントワークショップ風景

